

## 立花学園 関東大会出場!

立花学園男子ソフトテニス部と男子バドミントン部が4月に行われた大会で優秀な成績を収め、関東大会に出場したため、インタビュアーをしました。

### 男子ソフトテニス部

中学生からのダブルスを組む2人

3年ぶり!

秋澤遼さんと相原征奈さんは、

関東大会出場の要因について、「うまくプレーができないときも2人で話し合いをしながら、モチベーションを高めていったこと」と話してくれました。関東大会でも気持ちで負けないように、「やってやるぞ!」とお互いを鼓舞しながら試合に挑みました。また、

アジア大会出場経験もある顧問の内田先生のプレーを目標とし、アドバイスをすくく受ける環境も要因の一つと話していました。



### 気づき

男子ソフトテニス部では、「気づき」を大切にしています。練習や試合の中で気づいたことや先生からのアドバイスの意味を自分で考え、テニスノートに書き留めています。また、普段の生活の中でもいろいろなものに気づくように心がけています。

### 今後の抱負

秋澤さんは、「大学では高校で達成できなかった全国優勝を目標に頑張っていきたい。」と話していました。また、相原さんは、「今後もソフトテニスを続けていき、後輩の指導もしていきたい。」と話していました。

部の目標として内田先生は、「団体で関東大会出場とインターハイ出場」と話していました。剛毅果敢(思い切った決断すること)で常に前に進み続ける男子ソフトテニスにこれからも注目です!



### 男子バドミントン部

部の強みは指導者の多さ

6回目の出場!

男子バドミントン部には、多くの指導者がいます。メインコーチは1人ですが、立花学園バドミントン部のOBや高校・大学のバドミントン強豪校のOBなどが指導に携わっています。多くの指導者がそばにいて自分で自分の課題をすぐに解決できる環境が関東大会に出場し続けられる要因と話していました。指導者のレベルが高いため、日ごろの練習から高いレベルでは体験できないような練習ができることも要因の一つです。

また、バドミントンだけでなく、普段の食事や睡眠の取り方なども自分に合ったものを考え、取り組んでいるそうです。



### 感謝

顧問の花村先生は、「感謝の気持ちをお忘れなさい」と常に部員たちに指導しています。練習をサポートする指導者だけでなく、普段の食事や応援に駆けつけてくれる保護者のサポートへの感謝の気持ちを忘れないうように指導しています。

### 今後の抱負

関東大会は1回戦敗退となりましたが、今後の抱負について、花村先生は「インターハイ優勝」と話していました。

多くの指導者や保護者への感謝の気持ちを持ち続け県内上位に食い込んでいく男子バドミントン部の活躍に期待しましょう!

